



みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

おいしいお餅、上手につけたかな

深谷の有志 お手伝い

12月4日、草野幼稚園で餅つきが行われました。

この日は深谷地区の有志10人が餅つきをお手伝い。園児たちと一緒にJAそうまから寄付されたもち米、玄米で20kgをつきました。

子供たちは、餅をつく前にもち米を試食。ほかほかの米に「粘りがあっておいしー」と普通の米との違いを体験したあと、太鼓の音にあわせ有志の方と一緒に千本杵で餅をつきました。

つきあがった餅はきなこ餅と汁餅にわけてふるまわれ、子供たちはつきたての餅をおいしそうに食べていました。

第19回芸能発表会開催

村内11団体が唄や踊りを披露

第19回芸能発表会は11月24日、公民館で行われました。
村文化協会主催のこの

発表会には、村内の芸能団体11団体が参加。30演目にわたって民謡や踊りなどが発表されました。

この日は、はなづか太鼓のみなさんによる勇壮なオープニングに続き、各団体の会員らが次々に民謡や踊りなどを発表、日頃の稽古の成果を披露しました。



▲お揃いの衣装で踊る発表者ら



▲マスコット製作のようす

交通事故ゼロへ願いを込めて 母の会がマスコット作り

交通安全母の会（菊池恵子会長）では、12月14日に交通安全マスコットを作りました。青、黄、赤と信号機の色をしたこのマスコットはまゆ玉の中に鈴が入っており、会員たちの交通安全での願いが込められています。

同会では、来年春の入学式にこのマスコットを村内各小学校の新生と幼稚園の新生児に配る予定です。

会場の観客らは、間近で繰り広げられる華やかな踊りや生の演奏に大きな拍手を送っていました。

齊藤マツヨさん(深谷)が 相農分校で戦時中の体験話す

戦争の悲惨さ 若者たちへ



▲齊藤さんのお話をじっと聞く生徒たち



▲講師を務めた齊藤さん

12月16日、相馬農業高校飯館分校3年生の日本史の授業で、齊藤マツヨさんが講師を務め、生徒たちに戦争の悲惨さを伝えました。

これは、同校で秋の文化祭に「戦争と平和展」を行ったときに、齊藤さんの夫の久さんが従軍経験のあることから資料を提供していただいたこと

がきっかけで、学校側が齊藤さんに講師を依頼したものです。

「とにかく戦争は悲惨なもの、二度と起こしてはならないということを生徒さんたちに伝えたい」と話す齊藤さんは、召集令状によって自分の身内が出兵した時のやりきれない悲しさなどを当時の思い出と一緒に話していました。

地域安全ポスターコンクール

横山亜耶さん(飯館^中2^年)が最優秀賞
庄司志保さん(飯館^中3^年)も優秀賞



▲受賞した庄司さん(左)と横山さん(右)

原町地区防犯協会連合会と原町警察署が実施した地域安全ポスター・標語のコンクールで、飯館

表彰式は12月10日に原町警察署で行われ、警察署長から二人に表彰状が手渡されました。



▲庄司さんの作品



▲横山さんの作品

中学校(只野正教校長)2年の横山亜耶(八和木)さんがポスター中学生の部で見事最優秀賞に、また、同校3年の庄司志保(関沢)さんも優秀賞に選ばれました。

コンクールへの応募作品は、同警察署管内の各小中学校から89点、標語は381点の応募があり、このうちポスター中学生の部には56点の応募がありました。